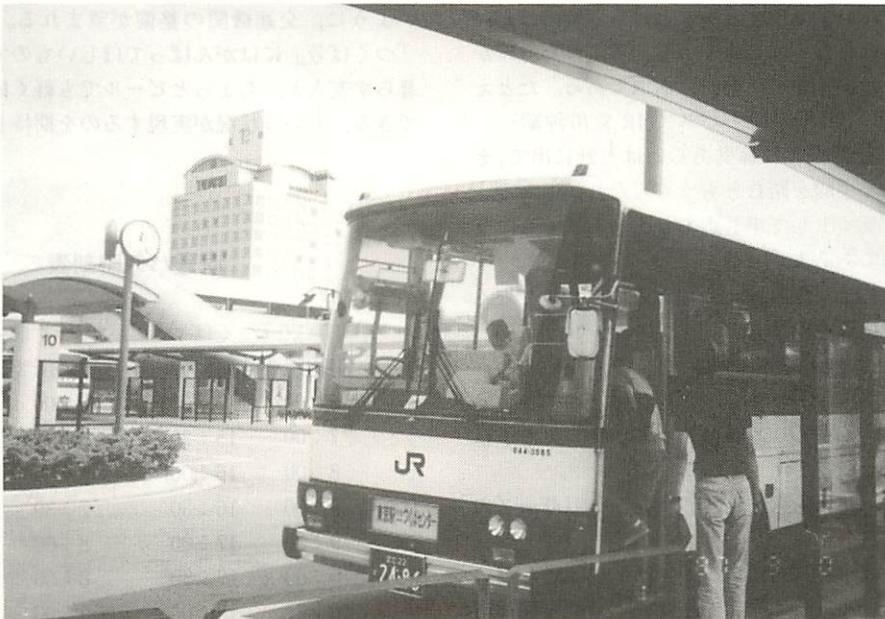




# 桐医会会報

1987. 9. 24 No. 20

## 筑波と東京を結ぶ“つくば号”



筑波センタービルと東京駅八重洲南口を結ぶ高速バスが9月15日から1日30往復となった。これにより東京ー筑波はますます近くなった。今号では、この高速バスについて紹介する。

### 主な内容

・筑波と東京を結ぶ“つくば号”	1	・M 6 の海外での Elective について	
・第 6 回筑波大学外科懇話会	3	学外実習番外編	6
・講師誕生	4	・スマイリング・マラウイ 2	7
・東医体主管について		・事務局より	9
桐医会から	5	・人事異動	10
東医体から	5		

ビールがおいしい季節も終わりに近づいた。ビールのつまみは枝豆に限る、という人もいるが、私はあれこれ並べて少しずつつまむのが好き。最近はやっぱりドイツ人は偉い、と感動しながらソーセージに溺れている。変わったソーセージを搜すことにも楽しみを覚えている今日この頃なのである。この間は「黒オリーブ+明太子」入り、という過激なソーセージを発見したが、練梅ソーセージや塩辛ソーセージといった強者が出現したらどうしよう、と期待と不安のないばぜになつた妙な喜びを感じたものだ。突然変異ソーセージをお見かけの方、御一報下さい。よろしく。それはさておき、前述の「ONLY 枝豆派」だが、これが意外に多い。ちなみに某 M 教授は某アドリブで枝豆以外のおつまみを注文することはめったにない。枝豆派の鏡と言えよう。こういった人たちの中には他のつまみに乗り換えるなどとはもってのほか、という枝豆に忠節を誓ってしまう人もいるようだ。確かに乗り換えるのはよくない。第一、面倒である。たとえば筑波から東京に出るのに、バスで JR 荒川沖駅へ、行ってそれから常磐線で日暮里あるいは上野に出て、それから……という手順を踏むともうぐったり、である。話がいきなりスライドして申し訳ありません。でもようやく本題に入れてああよかった。

常磐線の利用には、乗り換えが面倒というだけでなく以下のような問題点もある。

- ①虚弱体质のワタシはJRが混んで座れないという状況は寒い。
- ②常磐線下りの終電の客層は寒い。(特に女の子にとって)
- ③往復の運賃(バスも含む)でラウンジ・リザーズの新譜が買える。

これらの問題に対処するために(かどうかは知らないが)、関東鉄道とJR東日本が手を組んだ。研究学園都市と東京駅間を結ぶ直線バス、「つくば号」の運行を開始したのは今年の四月のことである。すでに三か月半が過ぎたが、利用者は多いようである。座席が全席指定制で必ず座れること、往復の料金が常磐線の利用と比べ、リーベンのペーコンスパゲッティ(あるいは「なかやま」のアイスコーヒー)分安いこと、なんといっても面倒な乗り換えがないというのが強い。というと良いことづくめのようだけど、やっぱり世の中はそう甘くない。車で東京に出る人は御存知の通り、筑波から東京へ向かう場合、首都高速の向島-江戸橋間は完璧な渋滞段階、このときばかりは「オトーマだったら良かった。」とマニュアル車に乗っていることを後悔する場所である。というわけで「つくば号」は東京-学園都市間の所要時間は一時間だが、その逆は平均で一時間四十分、ラッシュ時は二時間以上かかることがある、なのである。

「つくば号」の利点と欠点は以上のようにあるが、現在増便と最終便の延長を考えているそうだし、八月中旬には新しいダイヤを取り入れる予定もあるようで、今後利用者の増加とともにますます便利になっていくのではないかと思われる。某 K 講師は「ふふふ」。僕なんて開通と同時に回数券を買いましたよ。」と不敵に笑っていたが、利用者で最も多いのは出張組、次いで通勤、大学への通学などとなっているそうだ。今のところ「PLAY & SHOPPING」という人はそう多くないようだが、増便や最終便延長が実現すれば、こうした利用者も増えるのでは。

近くて遠き、は学園都市と東京である。研究学園都市という立派な名前をいただいているが、交通機関がお粗末ではいま一つ機能が低下するものでは。血行障害のないように、交通機関の整備が望まれる。とりあえす、「つくば号」にはがんばってほしいものである。東京に暮らす友人と、ちょっとビールでも軽く飲んで日帰りができる、という状況が実現するのを期待している。

### 直通バス時刻表

東京→つくば		つくば→東京	
平均所要時間60分		平均所要時間80分	
6:00	15:00	6:00	13:30
7:00	15:30	6:30	14:00
8:00	16:00	7:00	14:30
9:00	16:30	7:30	15:00
9:30	17:00	8:00	15:30
10:00	17:30	8:30	16:00
10:30	18:00	9:00	16:30
11:00	18:30	9:30	17:00
11:30	19:00	10:00	17:30
12:00	19:30	10:30	18:00
12:30	20:00	11:00	18:30
13:00	20:30	11:30	19:00
13:30	21:00	12:00	19:30
14:00	21:30	12:30	20:00
14:30	22:00	13:00	20:30

## 第6回筑波大学外科懇話会開かれる

昭和62年6月27日（土曜日）午後、筑波大学臨床講堂Cにおいて第6回筑波大学外科懇話会が開催された。今年は呼吸器外科の主幹ということで、実行委員長は呼吸器外科チーフレジデント森田理一郎先生（3回生）がつとめられた。別表プログラムのような内容で、ジュニアレジデントからチーフレジデント、大学院生まで外科の各分野での、日頃の研究の成果が発表された。本会は当初、新人外科レジデントの歓迎の意味をもったものであったが、懇話会の時は新人達は仕事がおそらく病棟からはなれられず、ほとんど出席者はなかった。しかし、懇話会後、夕方医学棟学生食堂で新人外科レジデント歓迎会が開かれ、新人全員の自己紹介、先輩教官全員からの言葉があった。

### プログラム

1. 開会の辞	実行委員長	森田 理一郎
2. 顧問挨拶	呼吸器外科	三井清文助教授
3. 演題発表		
<13:15 ~ 13:55>		
1) 術前診断困難であった肺癌の三切除例	座長	足立 信也
2) 当院開心術における血中心房性ナトリウム利尿ペプチドの動態的検討	S 2	遠藤 俊輔
3) 胆道癌術中照射例における肝動脈の変化について	院 2	村井 正
4) 家族性乳癌の二症例	C 1	宮本 寛
5) 胸部大血管疾患におけるMRI診断	J 2	平野 稔
5) 胸部大血管疾患におけるMRI診断	J 2	木川 幾太郎
<13:55 ~ 14:35>		
6) 肝内結石症例の検討	座長	厚美 直孝
7) 高速液体クロマトグラフィーによる皮弁のViabilityに関する生化学的研究	S 2	渡辺 宗章
8) 術後神経芽細胞腫と診断された小児胸壁悪性腫瘍の一切除例	院 4	清澤 智晴
9) 骨格筋の電気刺激によるトレーニングの基礎的検討	J 2	福江 真隆
10) 肝癌例における肝ミクロゾーム機能測定の臨床的意義	院 2	土肥 敏樹
10) 肝癌例における肝ミクロゾーム機能測定の臨床的意義	C 1	辻 勝久
<14:35 ~ 15:15>		
11) 縱隔型肺癌及び縦隔に主病変が存在する肺癌の外科的治療の検討	座長	遠藤 隆志
12) 単クローナル抗体と蛍光ビーズを用いた新しいマクロファージ食食能測定法の臨床応用	C 1	山部 克己
13) 原因不明の筋炎の一例	S 2	林 正敏
14) 肺血流減少性心疾患に対するmodified Blalock-Taussig手術の検討	C 2	玉那覇 好生
15) HLA CLASS II 抗原系の解析	C 2	厚美 直孝
	院 4	湯沢 賢治

＜15：15～16：00＞

16) 徐脈妊婦のペースメーカー治療	座長	玉那覇 好生
17) 術前診断を成し得た傍十二指腸窩ヘルニアの一例	C 1	水原 章浩
18) 平滑筋ミオシン重鎖の遺伝子構造と発現	S 2	今村 明
19) Immotile cilia syndrome の一例	院 2	斎藤 保
20) CUSA を用いた冠動脈剥離法の安全性に関する検討	S 1	山本 達生
21) Endoscopic varicerography からみた内視鏡的食道靜脈瘤栓塞療法後再発形式の検討	院 3	中島 英洋
	C 2	近森 文夫

＜16：00～16：40＞

22) 先天性気管狭窄に対する気管再建術の実験的検討	座長	森田 理一郎
23) 重症有機リン中毒の2例	C 1	上岡 克彦
24) 陽子線照射後 SIADH を呈した脳室内腫瘍の一例	J 2	村下 理
25) 肺挫傷五例の経験	S 1	長谷川 伸之
26) 原発性肝癌に対するL-TAI療法	S 2	神山 幸一
	C 2	足立 信也

4. 総会 16：40～17：00

5. 閉会



### 講師誕生

#### 腎臓内科 小林正貴先生(1回生)

本年4月1日付けで筑波大学臨床医学系に着任した第1回生の小林正貴です。私の専門は腎臓病学ですが、特に腎における免疫学と病理組織学を研究をしています。まだまだ未熟者で、学ぶことばかりですが、お世話になった母校に少しでも恩返しが出来ればと考えています。

私が6年間の筑波大学付属病院での研修を終えて感じたことは、医学でもっとも大切なことは、臨床においても研究においてもチームワークであるということです。10年前の医学部乱立後、医師過剰時代を向かえた現在、諸君が医師となるころの前途は我々の時よりはるかに多難と思われます。我々卒業生が、諸君らと一緒に母校をもりたてて行くことが、今後の筑波大学の確固たる地位を築くものと確信しています。これからも同じ桐医会の仲間としてのチームワークを持って、お互いに頑張りましょう。

#### 臨床医学系(精神医学) 大福 浩二郎先生(2回生)

卒業以来、精神神経科診療グループの一員として、小泉準三教授、白石博康助教授はじめ諸先生方に、精神医学の初步から懇切丁寧に御指導頂き、また実際の診療に

於いても様々な経験をさせて頂きました。卒後二年間は大学付属病院で基本的な精神医学の考え方、病歴の記載方法、治療の原則などについて教えて頂き、その後、第一線の総合病院精神科や単科の精神病院に於いて多くの症例を診断、治療するに従い御教授頂いた内容が生きた知識となり、また、研究所ではこれらの臨床経験の基盤の上で研修をさせて頂き、最後の一年間は付属病院に戻りそれまでの五年間の集大成をすることができました。この様に振り返ってみると、今更ながら大変に恵まれた研修生活であったと思われます。一つ残念なことは自身の非才の為に納得のゆく研究実績を上げられなかつたことですが、幸いにして四月から講師に採用して頂きましたので、今後皆様の御指導、御協力を頂きながら尽力して参りたく存じます。

お二人の他に、以下の先生方がそれぞれ講師になられました。

星野 稔	皮膚科	2回生
武島 仁	泌尿器科	1回生
天貝 均	整形外科	2回生

## 一 講演会実行委員会 東医体主管について

### 桐医会からのお願い

桐医会 財務担当役員 島倉秀也（3回生）

筑波大学医学専門学群も14回生を迎える、自分よりひとまわり年の違う後輩の出現に、やや自分の年を感じはじめた今日この頃です。

さて、会員の皆様方には、既に御存知のことかと思いますが、来年度、本学が東医体の主管校となって、筑波の地において東医体が開催されることになっています。

例年の東医体の会場に伴なう経費は、各大学からの参加登録費として徴収するものの他、諸OB、関連の方々などからの淨財により賄われているようあります。

今回の主管にあたって、担当の学生役員の試算によりますと、参加費以外に最低200万円の諸経費がどうしても必要とのことありました。例年他大学では主管の際に、同窓会などが中心となって、諸OB、関連の方々より寄付をいただいて、赤字にならぬようにしているようあります。

かつての所属クラブよりOBの方々に寄付の依頼があったかもしれません、このような各々のクラブ毎の寄付を避け、一括して、桐医会が寄付金を募集し、後輩の役に立ててもらうことにしようとを考えています。

つきましては、3回生以上（1, 2, 3回生）は1口5千円で2口、4回生以下新卒の8回生までは、1口の御寄付をお願いいたします。

特に制限はいたしません。卒業年度に関わらず、何口の寄付でも結構です。特に、東医体で活躍された先輩方にはお願いいたします。

追って、振り込み用紙をお届けいたしますので、その際には、御協力の程、お願いいたします

筑波における東医体を是非とも成功させようではありませんか。

### 東医体からの御後援のお願い

第31回東医体運営委員会 委員長 清野研一郎

7月19日から8月2日まで、第30回東医体夏季大会が東海大学医学部の主管となり行われました。湘南地区を中心に各地で熱戦がくり広げられ、筑波大学は総合第7位という成績を残し、“医学生の熱い夏”は過ぎていきました。

東医体とは、正式には東日本医科学生総合体育大会と言い、東日本に所在する35校の医科大学又は医学部の学生、実に12000名が参加するマンモス大会で、国体にも匹敵する規模に発展しています。東医体は、参加各校が順次主管校となり、各大会の準備を担当することになっております。そして来年の夏、第31回は、筑波大学医学専門学群の主管で行われます。35校参加でありますので、主管校は35年に一度しか回ってこないことになり、もちろん、筑波大学にとって初めての経験であります。

そのために運営委員会を組織し、昨年から準備を進めてまいりました。東医体の運営という大事業を一つがなく行い、筑波の各に恥じぬよう努力してまいりたいと思います。

しかし、なにぶん微力な私達であります、ぜひとも先輩諸氏の有形無形の御援助をいただきたく思う次第でございます。特に資金面では、やはり学生だけの力ではいかんともしがたい点がございます。つきましては、桐医会を通じ、皆様の御寄付をお願いしたいと思う次第でございます。

大会成功へむけて、誠心誠意努力してまいります。勝手なお願いとは思いますが、ぜひとも主旨を御理解いただき、御協力の程、よろしくお願い申し上げます。

## M 6 の海外での Elective について 一学外実習番外編一

皆さんもご存知のことと思いますが、M 6 の 4 月～6 月までの 3 ヶ月間、海外で実習できるシステムがあります。今回は今年ハーバード大学で実習してきた長沢さんの経験談をご紹介致します。

M 6 の学外実習としてここ数年オーストラリアやカナダへ実習にいく学生がいます。私はこのカリキュラムを利用してハーバード大学医学部へ行きました。後輩の諸君にもやってみたいと思われる方々がいるかと思い、わざかながら情報をお知らせしたいと思います。ハーバードのみならずアメリカのほとんどの大学では学外実習のシステムがあるようで、海外からも学生をたくさん受け入れています。私の場合知人がボストンにいたこともありハーバードを選びましたが、メイヨークリニックやその他いろいろと選択権はあると思います。手続きは上はまず大学へ資料を請求すると応募用紙を送ってくれます。さらに筑波大学側の承認を得るために担任の教授と相談しました。筑波側の承認は夏休み後に頂き、さっそくハーバードに応募用紙を送りました。この際 TOEFL など一切必要なく、単位取得証明(英文)が必要なだけでした。どの科を回るかというのはハーバードのコース、カタログをみるとわかります。私のもっているのは1986年版で古いものですがもし見たかったら直接にいらして下し。堀原一教授もおもちのはずです。

ここで注意しておきたいのは、ハーバードには大学病院がありません。マサチューセッツ総合病院(MGH)とか Beth Israel Hospital とか 26 の病院を使って実習します。MGH で私は実習をしましたが、初めてエーテル麻酔をした病院としても有名ですし、様々な分野で世界第一線の研究がなされており、レジデントもアメリカトップクラスのエリートぞろいの病院でした。

私の行った実習は移植外科とリウマチ内科とプライマリーケアでしたが、いずれも内容は充実していました。内容についてのくわしい話はここではやめておいて、実際に困ったことなどを書きます。

**1. 英語力** これは誰もが不安を抱く問題でしょう。私も同じでした。MGH の先生方は言葉遣い、患者に対する態度についての接觸を筑波以上に細かく指導します。ネイティブでない私に英語の細いニュアンスをいわれてもというところでした。パキスタンやドイツからの学生でかなりブローカンな英語でもやっていましたから、皆さんも心配はいらないとおもいます。目安として TOEFL で 600 点くらいかなというくらいです。

**2. 衣食住** ボストンは寒い！4 月末でも雪がふります。外科実習は朝の回診が 6 時半くらいから始まるので大変

### M 6 長沢 達雄

である。そしてボストンは暑い！6 月は T シャツに半ズボンでも暑いくらいです。天候はカリフォルニアをおすすめします。物価も高い！部屋代、食事代全てニューヨーク、東京並かそれ以上です。また住むところを探すのも大変です。私は友人が探しておいてくれたので助かりましたが。日本食じゃなきゃという方にも大丈夫。高いけどたくさん日本レストランはあります。

**3. 足 短い** とかいう問題ではありません。地下鉄は使えますが、週末にどこかへ遊びにいこうというときにはレンタカーとなります。国際免許からアメリカのライセンスに書き換えるのはマサチューセッツではカンタンです。1 時間くらいかかりますが、簡単な口答試験だけです。外科では地下鉄がない時間にも呼びだされました。こんなときは自転車です。つまり筑波に入りたてで車のなかったあの頃に戻るわけです。

**4. ホームシック** 人によりますが私の場合は予防策としてハーバードの図書館で朝日新聞や週刊朝日を読んだりしました。日本の映画もやってます。これが勉強になりました。英語の字幕をみて成る程こう表現するのかとか。日本の情報という面ではニューヨーク、カリフォルニアには負けます。何せそこではテレビで「なるほどザ・ワールド」がみれますから。ボストンでは日本語テレビはありません。

**5. クレジットカード** アメリガは断然 VISA か Master です。レンタカーでもコンサートのチケットでも何でもカードをもっていないとかえません。身分証明になります。是非御両親におねだりしましょう。

と以上ややどうでもいい感じの情報でした。5 月の桐医会報には寺島先生の格調高いまじめな医学生のお話が出ていましたのでこういう文になりました。くわしい話は直接連絡下さい。0298-51-1011 もしくはリーベンに御伝言下さい。

最後に今回の実習にあたり MGH シニアレジデント Joshua Schor 先生御夫妻、筑波大一回生今川先生御夫妻、四回生立崎先生、五回生大島、脳外科講師兵頭先生御夫妻(以上在ボストン)、小磯謙吉教授、堀原一教授、阿部師教授に大変お世話になり、また私の実習を支えてくれた友人、Bibbins 家の皆さんそして私の家族にも感謝の意を表したいと思います。

## スマイリング・マラウイ 2

先号に引き続き、青島さん（M1）のマラウイ在住日記を紹介します。青島さんは1978年～82年までアフリカ西岸のマラウイに青年海外協力隊の一員として滞在、その後トンガ王国、フィリピン、ブルネイなどを回ってこられたユニークな経験の持ち主です。マラウイでは学校で数学を教えていたというのですが、その生活ぶりを連載いたします。

### —私のマラウイ在住日記から——食べること

青島 多津子（M1）

イースター休暇の直前、マラウイにはユース・ウィークと名付けた期間がある。これは国中の学校の生徒・学生が国や地域社会のために無料労働奉仕をする一週間だ。道路を直したりバス停をつくったり、水源にダムを築いたり、年によってはかなり遠くの村まで遠征にもゆく。

最初年のユース・ウィークに、私は少女たち40人を連れて道路の草刈りに出た。雨期終盤のムズズの街は見わたす限りの草海原で、それが風にうねって波を伝えてくる。雨と太陽をたっぷり吸い込んだ草は、その強さで人間をたじろがせる。ガソリンをかけても、ガソリンだけが燃えて、草自体は決して炎をたてはしないのだ。それをスラッシャーと呼ぶ両刃の長い鎌をスwingさせて難いでゆく。一見ゴルフの素振りのようなスタイルだ。慣れないと、強靭な草はしなるばかりで、刈られはしない。生徒たちはスwingさせた刃とかえす刃で、バサリ、バサリ、と草を切り開いてゆく。

雨が降りはじめて、食糧は目に見えて豊富になった。摘んでも摘んでも、ブーゲンビリアの若芽は出てきたし、マーケットには、カボチャの葉やキャッサバ芋の葉、バナナの若葉も出まわるようになった。羽アリは何日かに一度、大群をなしてやってきた。放っておくと、そのうちに羽が落ちる。それを一匹一匹拾ってフライパンで空煎りする。レイクフライと呼ばれる、蚊に似た虫も、時にスープのだしとなって食卓においしい匂いを添えてくれる。それを主食のンシマと共に食べる。雨期になると、私たちはもうそれだけでリッチになってしまう。ンシマはメイズやキャッサバの粉を水で溶いて煮る。肉汁や魚が手に入れば最高のご馳走だ。

さて、一週間の草刈りの仕上げだ。切り開かれた四角い土地のまわりから火を放つ。刈られた草の上を、黄色っぽい煙が広がってゆく。最後は中央をかこんで一息に火をつける。かくしてここに集められた小動物たちは、火に逐われて飛び出したところを一網打尽になるという

次第だ。それでも運良く地面の穴に逃げかくれるものもある。生徒たちは焼け跡を注意して見てゆく。一人が地面にポコリとあいた小さな穴をみつける。手をつっこんで穴が横にのびていれば、ネズミかモグラだ。数人が組みになってこの横穴の出口をみつける。幸い、マラウイのネズミの横穴は、東京の地下鉄ほど込み入ってはいない。一つの穴の入り口からくすぶっている木の枝をさしこみ、出口で待つ。こうやって、作業が終わる頃にはにこにこした顔が手に手に数匹のネズミやカエルをかかえている。一番若いレジナが私のもとにとんできた。

『先生、あげる。』

誇らしげに開いた小さな手には、生まれて間もない野ネズミの子がそもそもしている。

『ん、ありがとう。これどうするの。』

『先生、食べないの？ 嫌いなの。』

レジナの張り切った顔が急にしほんだ。しまった、うろたえた私は、思わず言ってしまった。

『もちろん、先生もこれ大好きよ。ありがとう。半分ずつしましょ。』

『じゃ、焼かなくっちゃ。今食べる、先生？』

レジナは眼を輝かせると、木の枝をネズミに突き刺して、火にかざした。かわいたネズミの泣き声が耳に残った。ブタの丸焼きならぬネズミの丸焼きは15分ほどでできあがった。

この子ネズミはレジナのたった一匹の収穫物だった。その、たった一匹のおいしいミズミを日本から来た先生に食べさせてあげたい。こんなにやさしい心がどこを探して求められようか。レジナと半分ずつにしたネズミを手にして、私はあきらめた。なるべく手元を見ずに、そろそろとネズミをかじった。この日私は他にも、カエルを2匹もらった。

あほう鳥の話を生徒にしたことがある。

『この鳥は日本の保護鳥なのよ。』

『ふうん、何故保護するの？』

『数が少なくなつて絶滅しそうだから。』

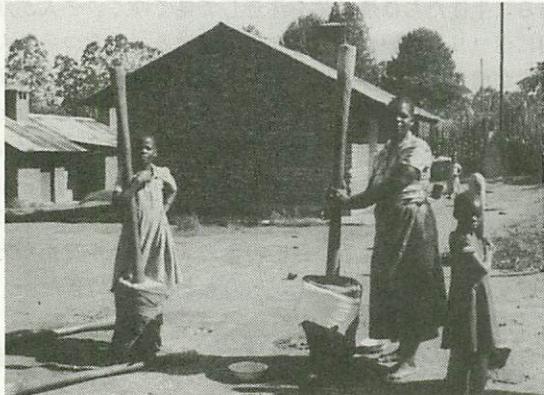
『いつまで？』

『多分、ずっと。』

『で、数がふえたら食べるの？』

そうだ。自然保護など腹が一杯の人間のアイデアなのだ。さんざんの自然を壊したあげく、束の間の豊かさを勝ち得た人々、他国の自然を容赦なく破壊しながら、自分のまわりは守ろうとする私たち。

イギリス人の友人が休暇にハウスボーイを連れて帰国した。



干したメイズまたはキャッサバ芋をついて粉にし、主食のンシマをつくる。マラウイでは子供たちは大切な働き手である。

ムズズにて



かつて、白人に捕えられた多くのマラウイ人がこのカボックの並木につながれ、ヨーロッパへ、アメリカへと売られていった。今も国内には数ヶ所の奴隸市場の跡が残る。

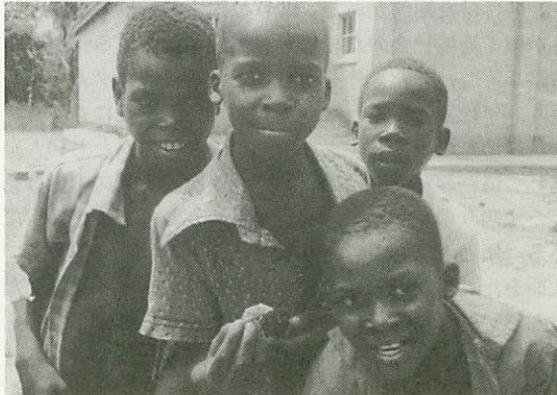
ンコタコタにて

『ねえ、ちょっと聞いてよ。よく働いてくれるから、御褒美にロンドン見学につれていったの。二日かけて。で、最後にロンドンの何に一番びっくりしたか、聞いてみたんだけど、なんだったと思う？』

『なんだったの？』

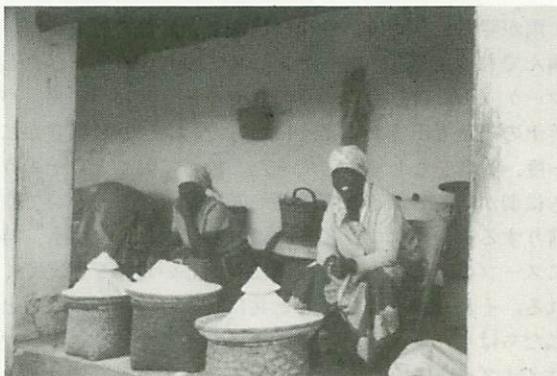
『それがね、肉屋にあんなに肉がぶらさがっているのに、どうして誰もとっていないんだろう、ですって。』

笑い事ではない。タンザニアの自然公園を旅行した時、私だって、ワンサといろライオンやシマウマを見て、心の中で叫んだものだ。わあ、肉があんなにもいっぱい。



子供たちの表情は底抜けに明るい。

カロンガにて



首都リロンヴェのマーケットにて

ンシマを売る婦人たち

リロンヴェにて

〈事務局より〉

## アンケート調査のお願い

山口高史 桐医会会长

今春第8期生が卒業され、筑波大学医学専門学群の卒業生も800人を越える数となりました。

ところで、最近では医療を取り巻く環境も年々厳しくなりつつあります。また、筑波大学ではその特殊性もあり半数以上の方が大学を離れて御活躍されています。そこで最近、桐医会でも御手伝いできることはしようではないかという気運が高まり、今回その第一歩として第三

期生までを対象にしてアンケート調査を企画いたしました。博士号の問題、就職の問題、そのほか様々な問題点があると思われますが、一方、現在は特に問題のないかたも数多くおられると推察いたします。しかし、今回のアンケートに関しましては将来の桐医会のありかたも踏まえまして宜しく御協力の程お願いいたします。

## 第7回総会のお知らせ

桐医会総会も7回目を迎え、年に一度の同窓会総会として定着してまいりました。これまで毎年5月に開いてまいりましたが、今年は、基臨社祭の日程に合わせて、10月10日（祝）に開催されることになりました。

今年度は卒業生の追跡調査によって、進路の実態を探り、又、今後の進路選択の参考にしてもらおうということで、卒業生のその後の変遷を統計学的にまとめてみる試みです。医師の過剰、医学の急速な進歩、医療の専門

化、高額な医療費、患者のニーズなど、医療も複雑化しつつある現在、卒業生がどのような足跡をたどり、どのような進路をたどっているのかを考えることは大切なことだと思われます。

当日は学園祭、基臨社祭も開かれます。卒業生の皆さまには御多忙中とは存じますが多数ご参加頂きたくご案内申し上げます。

## プログラム

期 日	昭和62年10月10日（祝）	1：00～3：00 p.m
場 所	医学専門学群 臨床講堂C	
第Ⅰ部	総会（前年度事業報告・決算報告その他）	
第Ⅱ部	卒業生のその後（仮題）	

## 〈編集後記〉

朝夕はめっきり涼しくなり、秋の気配が日一日と深まってまいりました。今回の会報作りは途中で夏休みが入ったりして、大幅におくれてしまい申し訳ありませんでした。

来月10日には総会が開かれます。基臨社祭も開かれていますので、懐しい学生生活を想い出しに是非いらして下さい。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

では皆さま、季節の変わり目に風邪などひかれませんように。（有）

皆様初めまして。今回の名簿作りから、桐医会に加わりました。この「編集後記」をかつて、「へんしゅうあとき」と読んでいた私です。皆様のお役に立てるよう、これから、国語の勉強に励もうと決心致しました。乞う御期待を!!

## 人事異動

4.30	村本 治	辞職	臨床医	講師	アルバートAINSTAIN医科大学 アシスタントプロフェッサー
5. 1	二宮 治彦	採用	〃	〃	北茨城市立病院医師
6. 1	目崎 登	昇任	〃	講師→助教授	
6.15	酒井 章	辞職	〃	講師	北茨城市立病院
6.16	筒井 達夫	採用	〃	〃	北茨城市立病院医長
6.30	古江 信夫	辞職	〃	教授	病院経営
〃	友田 幸一	〃	〃	講師	関西医科大学
〃	高橋 秀東	〃	〃	〃	病院経営
〃	柴田 治郎	〃	〃	〃	〃
7. 1	樋村 博正	採用	〃	〃	筑波大学付属病院医員
〃	角田 肇	〃	〃	〃	筑波学園病院医師
〃	村山 耕子	〃	〃	助手	筑波大学研究生
〃	堀内 早苗	〃	〃	〃	〃
〃	岩崎 秀生	〃	〃	〃	筑波大学付属病院医員
〃	針原 伸二	〃	社会医	〃	東京大学研究生
〃	佐野 憲一	配置換	〃	〃	研究協力課支部技官
7.15	石川 博通	辞職	臨床医	講師	水戸済生会総合病院 必尿器科部長
7.31	島崎 修次	〃	臨床医	助教授	杏林大学医学部教授
〃	武田さき子	〃	臨床医 (保健管理センター)	助手	
8. 1	永田 博司	採用	臨床医	講師	京都大学医学部付属病院医員
〃	島倉 八恵	〃	〃	助手	筑波大学付属病院医員
〃	菅間 博	〃	基礎医	〃	〃
〃	鬼澤浩司郎	〃	臨床医 (保健管理センター)	〃	東京医科歯科大学歯学部 付属病院医員
9. 1	鈴木 利人	〃	臨床医	講師	筑波大学付属病院医員
9. 1	武田 徹	採用	臨床医	講師	筑波大学付属病院医員
〃	中島 賢一	〃	〃	〃	筑波メディカルセンター病院医師
〃	村山 史雄	〃	〃	助手	猿島共同病院外科科長
〃	福田 潔	〃	臨床医 (保健管理センター)	〃	結核研究所 付属病院医員

編集責任者 湯沢 賢治 (3回生)

staff 有園 さおり (M5)

斎藤 知栄 (M4)

市川 弥生子 (M4)

桐医会会報 第号

発行日 1987年9月24日発行

発行者 山口 高史 編集 桐医会

〒305 茨城県新治郡桜村天王台1-1-1

筑波大学医学専門学群学生担当気付

印刷・製本 株式会社 イセブ